

彫刻家 西尾 康之



1967年 東京都生まれ
1991年 武蔵野美術大学彫刻学科卒業 現在東京芸術大学彫刻科准教授。
指で粘土を押す軌跡のみで作った雌型から作品を制作する独自の手法「陰刻鑄造」による 立体造形で知られる。全長5mの戦艦『ミンスク』(2004)や6mの巨大な『Crash セイラ・マス』(2005)など、膨大な作業と規模が圧倒的な存在感を放つ。また水墨画、油彩画等も制作している。2016年に山本現代にて開催された個展では、ヘッドマウントディスプレイを装着し、3DCGで創られた群像を視覚的に「体験」する『REM(Rapid Eye Movement)』を発表した。

全国公開実技コンクール 特別リモート講演会

2021年10月17日(日) 14:30~

- 全国公開実技コンクール(彫刻科)受講者に限りです
- 公開コンクール受講証が入場券となります。

<近年の個展>

2006年10月「優麗」山本現代東京
2008年9月「健康優良児」ナディフギャラリー東京
2009年1月「DROWN」山本現代東京
2010年11月「THE*UNIVERSE」山本現代G-Tokyo 森アートセンター
ギャラリー東京
2012年4月「EXOTICISM」山本現代東京
2016年10月「REM (Rapid Eye Movement)」山本現代東京

<主なグループ展>

2002年9月「Cast Cysle 小谷元彦/西尾康之展」スカイ・ザ・バス
ハウス 東京
2004年2月「六本木クロッシング」森美術館 東京
2005年7月「GUNDAM-来たるべき未来のために-」サントリーミュー
ジウム天保山大阪
2008年9月「釜山ビエンナーレ2008」プサンミュージアムオブ
モダンアート 釜山
2017年11月「ドラえもん展」森アートセンターギャラリー 東京
2021年8月「リボーン アートフェスティバル2021」石巻市街
宮城県

<受賞>

1999年 キリンアートアワード1999奨励賞
2000年 キリンアートアワード2000奨励賞 岡本太郎現代美術大賞
入選 2001年 アートスカラシップ2001 榎木野衣部門 入選
2002年 GEISAI-1 グランプリ受賞

